

平成27年度第1回
山梨県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会開催概要

- 1 開催日時 平成27年7月17日（金）13：30～15：30
- 2 開催場所 山梨職業能力開発促進センター 会議室b
- 3 協議内容
(1) 平成26年度事業実施状況及び平成27年度事業実施計画について
(2) その他
- 4 議事経過

各委員からの主な意見は以下のとおり。

- ◇ 訓練運営上の課題に対しては、諸機関の連携が重要である。この連携が少しでもレベルアップしていくようなシステム作りをお願いしたい。
- ◇ 新規学卒者のみを採用していたある会社（在職者訓練を受けていた企業）が、離職者訓練を受けた方4名を採用したところ、非常に頑張っている仕事をしているとの好事例がある。このようにポリテクセンターの存在は重要である。
- ◇ 女性のものづくり訓練にはなかなか難しい課題があるが、「女性のためのものづくり仕事セミナー」等の広報活動を大切にしてほしい。
- ◇ 他県にないひとつの特長として、女性がものづくり分野に進出する県というイメージが想像できる県になってほしい。これが相乗効果になり、男性のものづくり分野への進出も増えるのではないかな。
- ◇ 農家の女性で、子育て中は自分で子供を育て、子供が大きくなったら、トラクター等の農機具を自分で操縦し、経営自体にも携わる等、非常に元気で頑張っているという調査事例がある。
製造業も「ものづくり」という点では同じである。近くで見て、自分にもやれるぞと実感してもらうことが大事で、意欲、モチベーションが大切である。
- ◇ 観光業を中心としたサービス業の人材が足りないので、富士山麓が中心の求人企業と接点を持ちながら、公的職業訓練のコースとして取り入れて人材育成を行ってほしい。
- ◇ ポリテクセンターの事業を知らない人が多いことを踏まえ、事業主団体や各企業の社長等、いろいろな人にポリテクセンターを見てもらうことが重要ではないか。求職者、事業主に関係なく、気軽にいつでも見学できるという受け入れ態勢を作るのはどうか。
- ◇ 女性のものづくりについて、ポリテクセンターと女性の経営者とのつながりを付け、女性の経営者の意見を反映させながら募集してはどうか。

運営協議会委員（敬称略）

萩原 親作	山梨大学工学部機械工学科教授
堤 マサエ	山梨県立大学名誉教授
清水 健	株式会社山梨日日新聞社論説委員
山形 正喜	一般社団法人山梨県専修学校各種学校協会副会長
中澤 晴親	日本労働組合総連合会山梨県連合会会長
小林 明	甲府商工会議所事務局長
小池 基次	山梨県経営者協会専務理事
中込 雅	山梨県中小企業団体中央会専務理事
深尾 嘉仁	山梨県商工会連合会専務理事
米丸 洋	山梨労働局職業安定部長
萩原 憲二	山梨県産業労働部産業人材課長
宮川 洋	甲府市産業部産業総室労政課長
水口 明臣	山梨県職業能力開発協会専務理事